

26

Nobody (ノーバディ)

げつようび

1列王 18章1節 それから、かなりたって、三年目に、次のような主のことがエリヤにあった。
 「アハブに会いに行け。わたしはこの地に雨を降らせよう。」

福音を持つ私たちは、最も低いところから始めて、最も高いところへ行く祝福を受けた人々です。そして、他の友人が最もいやがる所に行き、特別な競争相手もないので、そこで最も重要なことを作り出すことができる人です。福音には、ただ、唯一性、再創造の力があります。私たちがこのことに目を開くとき、神様は驚くべき働きを始めてくださいます。その働きは、やがて世の中を変化させる大きな答えと証拠として現れるでしょう。

これが私たちが捨てられたところに献身できる理由です。また、世の中の間違ったことなどに対して、静かに流れを変えることができる理由です。これを通して、人を生かすことこそ神様のみこころであることがわかるでしょう。この奥義の中で、神様の絶対計画を質問して、世の中を生かす挑戦を始めましょう。誰も行くことができなかったアハブ王の前に、主のみことばを持って行ったエリヤのように、神様のレムナントとして挑戦するようになるでしょう。



きょうのみことば



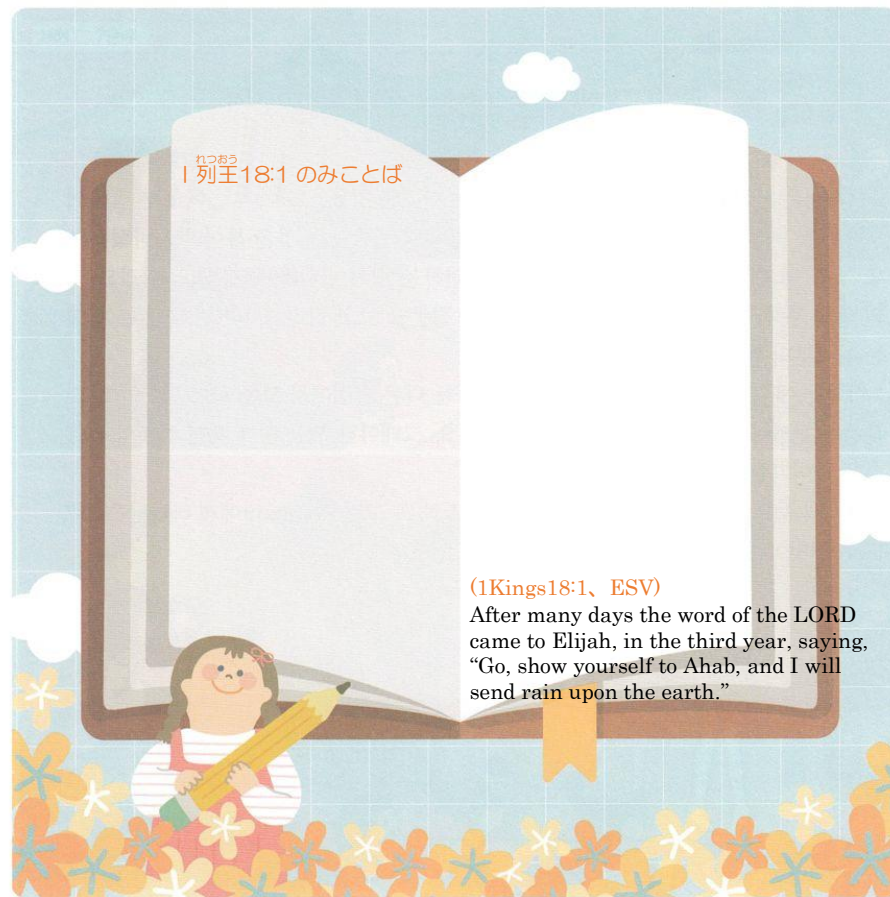
きょうのいのり

神様、ありがとうございます。だれも見ない、行かない現場に、ただ、唯一性、再創造の力で挑戦することができるように、恵みを与えてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



書いてみよう

アハブ王の前で、神様の力をあかしたエリヤに臨んだ神様のみことばを日本語と英語で書いて、神様の証人として呼ばれた私の契約としましょう。



きょうのでんどう

あひと 会う人

じゅんび しりょう 準備する資料

ルカ
3章 6節

こうして、あらゆる人が、神の救いを見るようになる。

イエス様は山上の垂訓を通じて、私たちが知っていることと反対のことを教えてくださいました。人々が考える「幸い」ではなく、心が貧しくて、悲しんでいて、迫害を受けることが幸いだと言われました。また「祈り」についても、人の前で同じことばをただ繰り返すのではなく、まず神の国とその義とを求めなさいと言われました。そして、友だちの間違いを見つけて指摘するより、先に私の目にある梁から抜きなさいと言われました。

イエス様の教えのように、私たちは世の中とは違った観点から見る力がなければなりません。福音の観点で見ることのできる福音の目で見れば良いのです。そうしてこそ、世の中にとらわれて、のろいとわざわいの中で死んでいく人々を生かすことができます。

福音の目で世の中を見ることができるよう祈りましょう。そのようなレムナントに、神様は 237、いやし、サミットという契約の成就を味わわせてくださるでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。この世の人たちは反対側を見る福音の目を開いて、私の学校現場と専門分野を生かす力を与えてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



ちがいを
みつけよう

反対側を見るということは、だれも見ないことを見ることです。だれも見ないことを見ている友だちがいます。

2つの絵を比べてだれも見えていないちがうところを見つけましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料



28

すいようび

レムナント ダビデが もっていた こと

詩篇

78章 72節

彼は、正しい心で彼らを牧し、英知の手で彼らを導いた。

神様は、幼いころからレムナントのダビデに神様のみことばを刻印されました。羊飼生活しながら神様にささげた祈りと賛美で、神様のことがダビデの心に根をおろすようにされたのです。このようなダビデは、ペリシテのゴリヤテに立ち向かったとき、すでに神様のみことばの力が体質になっていました。

神様は、私たちをそれぞれの現場に置いて、その現場を生かすレムナントとして準備しておられます。そのような私たちが、今から準備することは、ダビデのように神様のみことばによる刻印、根、体質のコンテンツ（内容）です。毎日短く30秒、長いときには5分、福音のみことばによってささげる祈りから始めましょう。私がおささげる今日の小さな祈りは、大きくてかたい霊的な岩のような暗やみも打ち破る霊的力になるでしょう。



みことばを
適用しよう

私は空いた時間をどのようなことに使っていますか。空いた時間から5分を見つけてみましょう。その時間がダビデのように、準備した祈りをする時間になるように、メモを残しましょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。レムナントのダビデのように、福音が刻印、根、体質になるコンテンツを持つ毎日の時間が、途切れることなく、続きますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

もくようび

詩篇
23章1節

主は私の羊飼いです。私は、乏しいことはありません。

レムナントのダビデは羊飼いのころから、みことばと黙想、賛美と祈りで力を受けていました。目に見えない霊的力と世の中の人からも見える知恵を持つように準備していました。このようなダビデは、預言者サムエルと会ったとき、重要な未来の契約を受けました。そして、その日以来、主の霊が激しく下るほど、霊的サミットの祝福を味わいました。ペリシテ人のゴリヤテを倒して当然の霊的サミット、技能サミット、文化サミットになりました。軍人であり、王であったダビデのそばには、いつも死の危機がかけていました。しかし、神様がくださった契約を心に大切に留めて祈っていたダビデは、死の危機の背後にいたサタンと霊的戦いを繰り広げながら、神殿を作る準備を完全にしました。準備をすすめる中で、まわりの強大国が、伝道と宣教の対象になる祝福も味わいました。

神様がいない現場は霊的戦いの現場です。このような現場に、神様は私たちをダビデのように、霊的兵士として呼ばれました。今日、霊的サミットの時間を持って、サミットの祝福を味わうことから始めましょう。神様がくださった才能と技能が、世界福音化に用いられるようになるでしょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。レムナントのダビデのように、霊的兵士になって、多くの人を生かして、いやすことができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを適用しよう

私にどんな危機が迫っていますか。いま、私に迫る危機をひとつ書きましょう。霊的兵士の目で、私の危機を機会に変える時間を待ちましょう。



きょうのでんどう

あひと 会う人

じゆんび しりょう 準備する資料

30

きんようび

ダビデの れいてき コンテンツ しゅくふくを あじわおう

I サムエル
18章 7節

女たちは、笑いながら、くり返してこう歌った。「サウルは千を打ち、ダビデは万を打った。」

契約を握ったレムナントは、契約の旅程を歩むための旅程コンテンツがなければなりません。レムナントのダビデは幼いときに、預言者サムエルによって油を注がれ、王になるサミットの契約とミッションをあらかじめ受けました。神様は、その時から、その旅程を歩むことができる霊的力をあらかじめくださいました。立琴をひくとき神様の霊が臨んで、サウル王をおびやかす悪霊が離れるほどの霊的力を持つことになりました。サウル王がダビデをねたましく思って殺そうとした時も、十分に勝つ力がありました。かえって、戦わないためにわざわざ逃げて、サウル王が変わることを最後まで待つ霊的余裕と征服の力までもあらかじめ持っていました。

私たちがダビデのように神様の霊に満たされるように祈りましょう。そのときから、徐々に整えられていく霊的力によって、私が行くすべての所でサタンが逃げ、すべての人を生かすようになるでしょう。そうすれば、毎日契約と霊的力の旅程コンテンツが成就するでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。ダビデのように、私にも契約と霊的力という霊的コンテンツを与えてください。私の生活を通して成就される祝福が与えられますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

第17次軍宣教会大会2講 | 2020.10.17



かくれている
絵をみつけよう

サウル王のねたみにも、戦わない霊的余裕と、征服の力をあらかじめ持っていたダビデ王のように、私もその力を持つように祈りながら、絵の中に隠れている絵を見つけましょう。

結羽、ながぐつ、メガネ、ぼうし、かめ、くじら、三角定規



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

01

どようび

みらいを あらかじめ みる いのり

I 歴代
第13章 13～14節

いま わたし たちの 神、 わたし たちはあなたに 感謝し、 あなたの 栄えに 満ちた 御名を ほめたたえます。 まことに、 わたし は何者なんでしょう。 私の 民は 何者なんでしょう。 このよう にみずから 進んで ささげる 力を 保っていたとしても、 すべてはあなたから 出たのであ り、 わたし たちは、 御手から 出たものを あなたに ささげたに すぎません。

いのりとは何でしょうか。力の神様が私とともにおられることを味わうことです。暗い道でもパパやママの手を握って歩いたら、怖いこともなく堂々と歩くことができます。神様がともにおられるので、私は孤独でなくて、どこにいても大丈夫で、どんな状況でも関係なくなります。レムナントは、このような祈りのコンテンツが必要です。そのようなレムナントには、神様が喜ばれる神殿建築をあらかじめ準備したレムナントのダビデのように、未来をあらかじめ見る祈りが始まります。

未来をあらかじめ見る祈りをささげたレムナントは、すべての生活の理由を見つける伝道をしめます。ご飯を食べて、勉強して、遊ぶことに関しても、神様にその理由を質問すれば、伝道コンテンツが見えます。ダビデのように、今から私にまかされたことをとおして霊的祝福を味わう賛美と礼拝をささげましょう。そのときから、神様が今日一日を始める私の小さな祈りとみことば黙想の時間に、私の刻印を変えてくださり、未来をあらかじめ見る答えを備えてくださるでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。まず神様が私とともにおられることを祈る祈りをどんな状況でもささげることのできる信仰の人になるように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



めいろをとおって、未来をあらかじめ見る答えの始まりである祈りを刻印しましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび しりょう
準備する資料
